

遅発性ジスキネジア体験談マンガ

# 「無意識な体の動きに気づいたら」

Ver.3 パートナーとして



監修：桶狭間病院 藤田ころけアセンター 病院長 藤田 潔 先生  
桶狭間病院 藤田ころけアセンター CRC 坪井 宗二 先生

ストーリー：すずかおる  
絵：いしづまさかず

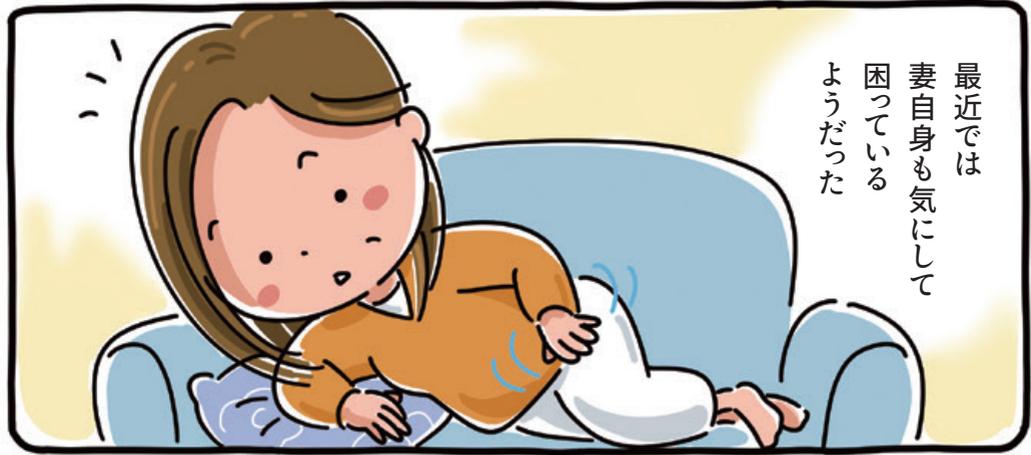
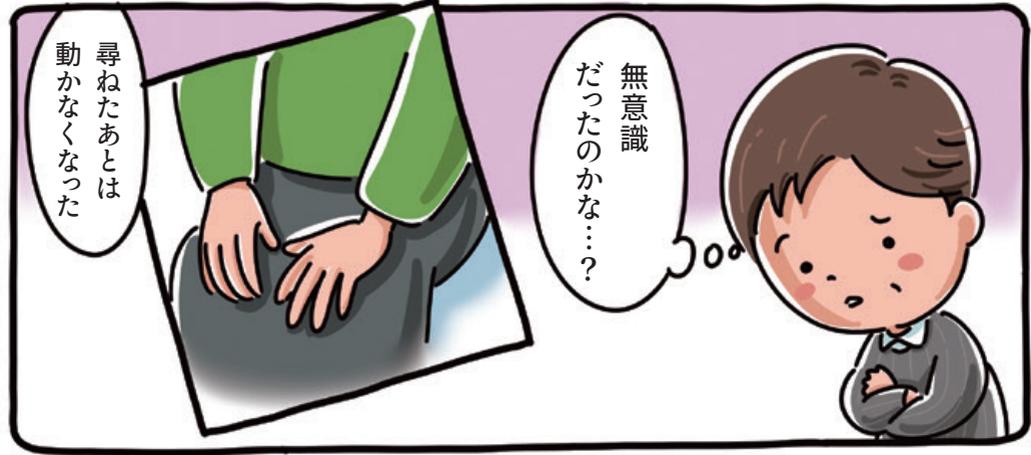
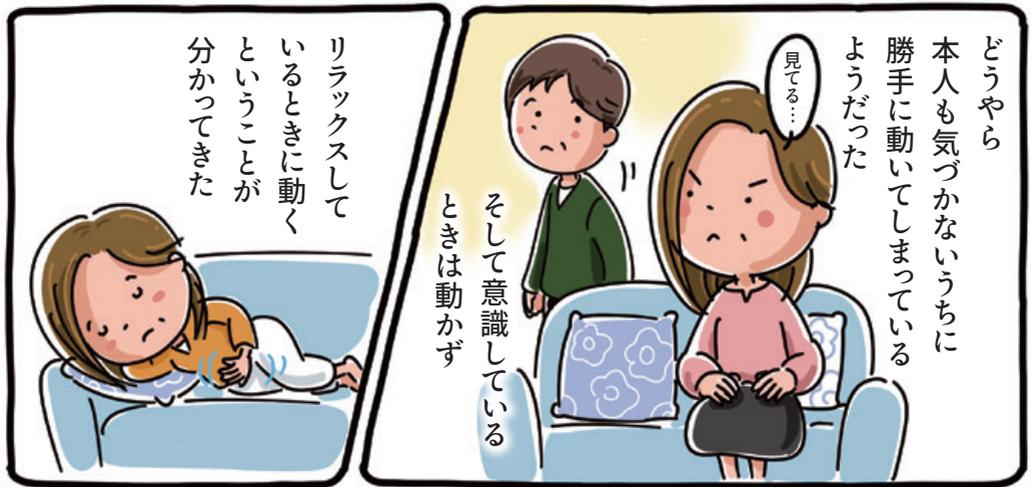


妻は半年前  
双極性障害と  
診断され  
抗精神病薬を  
服用している



薬が効いたのか  
症状は少し落ち着いて  
きたようだ







ストーリーの中で男性が見ている 症状の動画が見える サイトはこちら

### 遅発性ジスキネジア サーチライト



これかもしれない!



それは抗精神病薬などの薬を 長期間使用したことで起こる

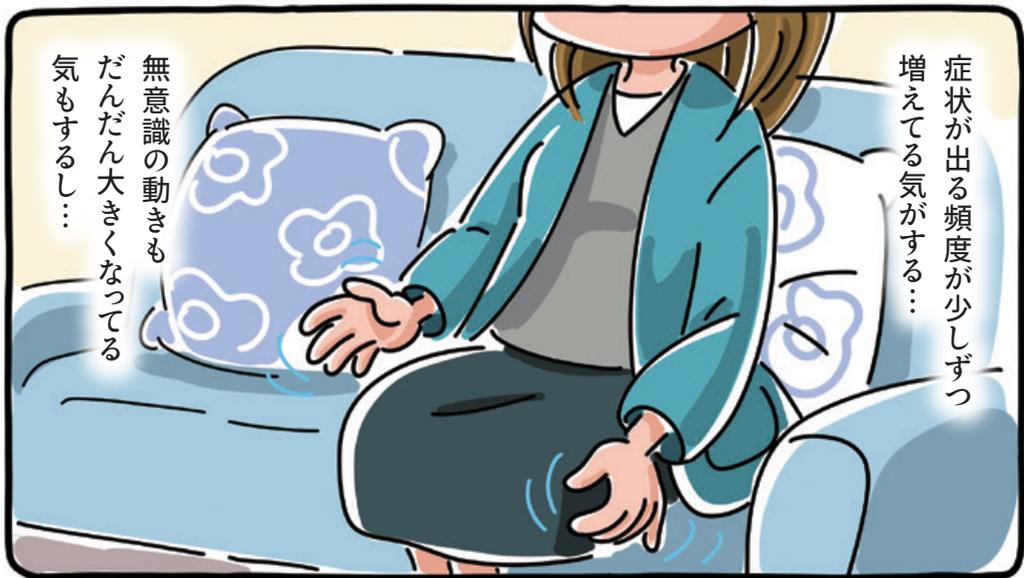
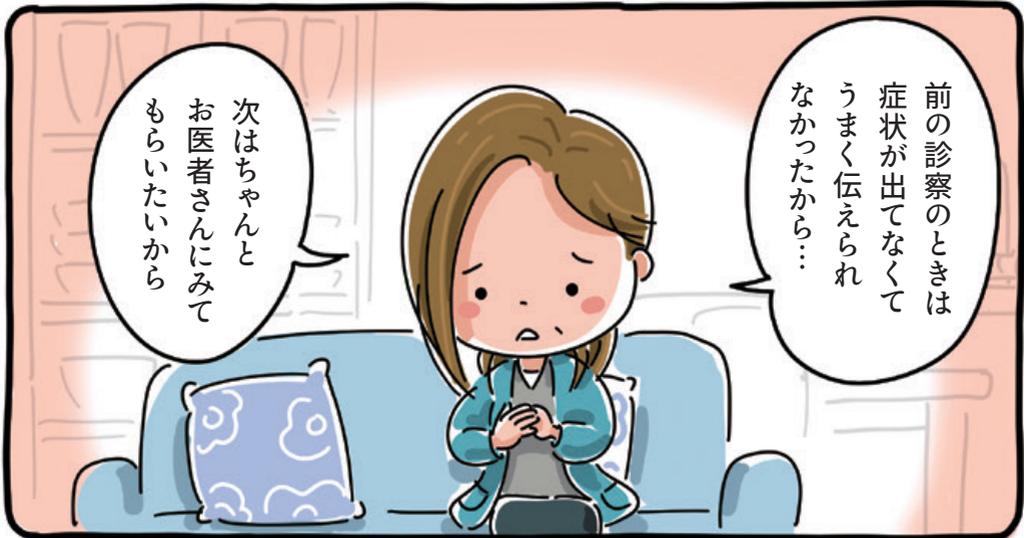
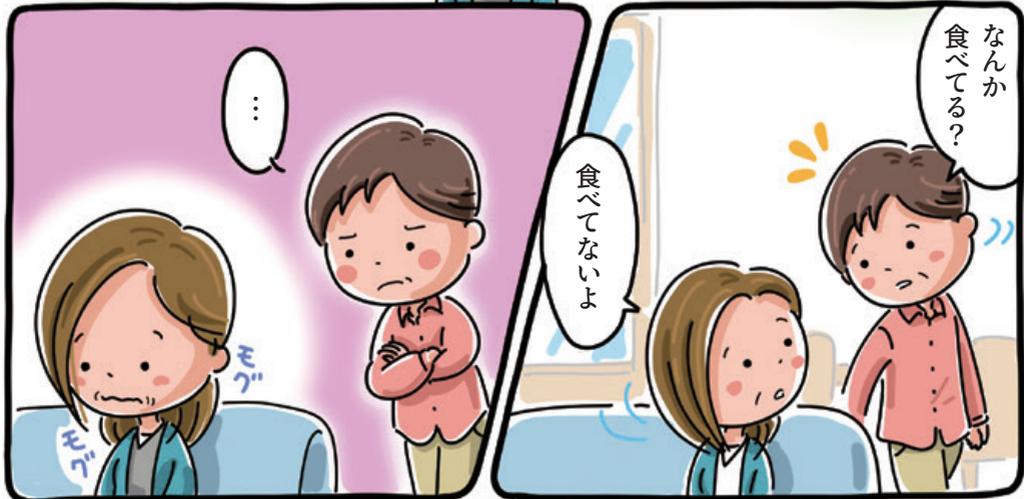
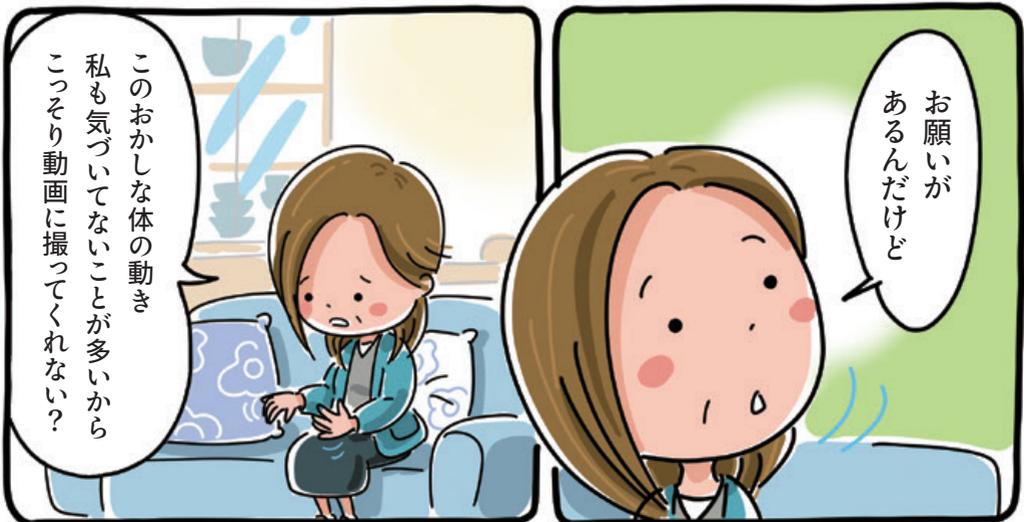
### 「遅発性ジスキネジア」

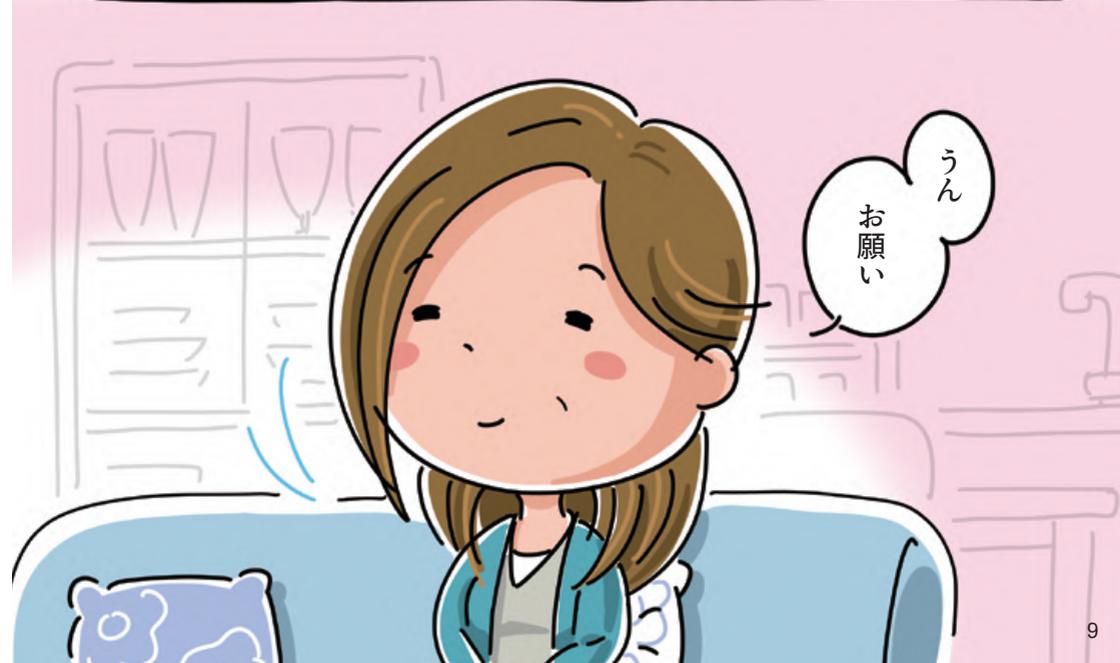
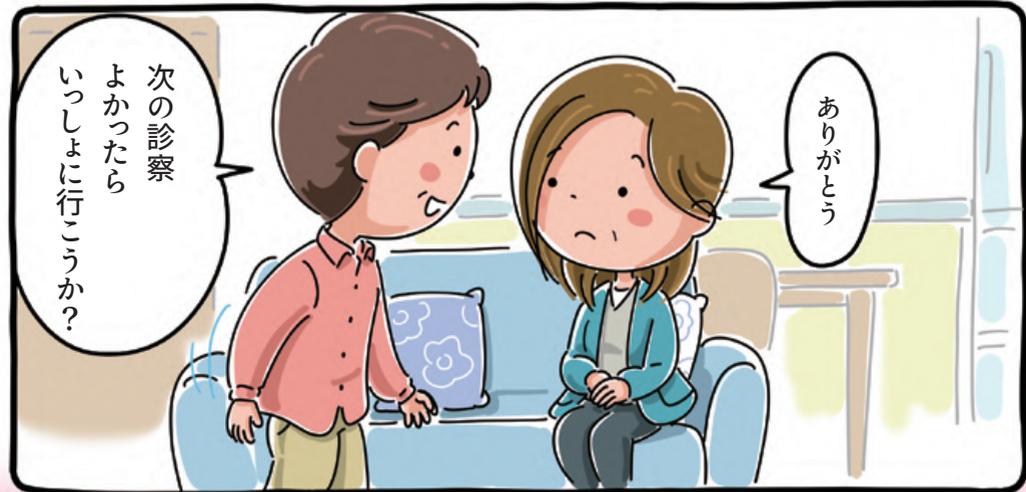
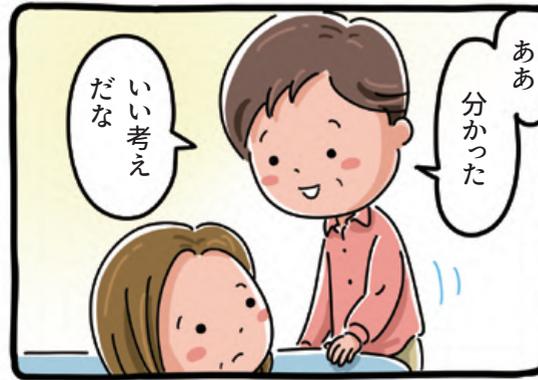
という症状について 書かれたサイトだった

「不随意運動」... 「自分の意思とは無関係に 起こる動き」か...

こころ ぼんやりする...









ようやく病気も  
落ち着いてきたんだから  
今飲んでいる薬を  
変えたくないなあ



やっぱり  
もう帰るね



ギョッ

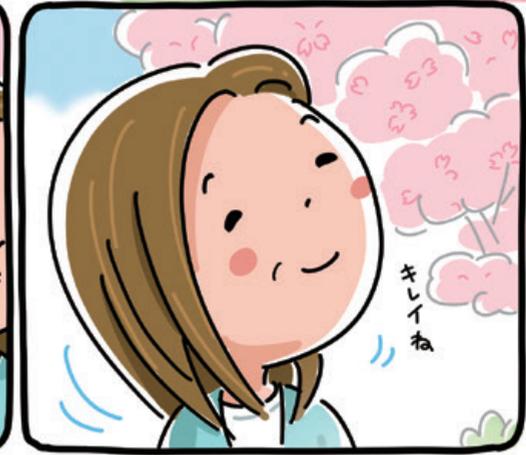


人の目が  
気になるのかな…

せっかく久しぶりに  
外出できたのに



そうだ  
妻は花が好きだった



キレイね



こんなふうにもまた  
外に出られるようになって  
花も愛でられる  
余裕が出るなんて

双極性障害の  
治療のおかげだ



簡単な検査を受け



そして受診の日

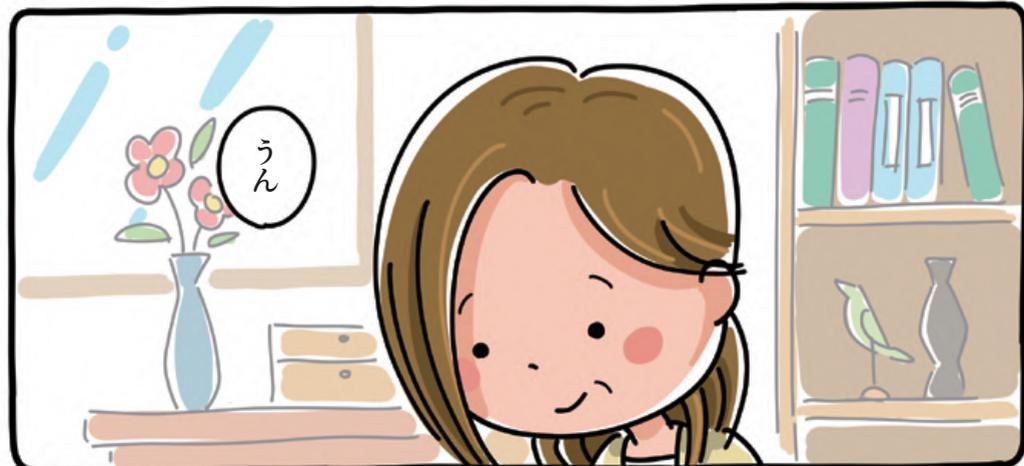
動画も撮ったし  
しっかり先生に  
説明するよ

もし何も  
対応して  
もらえなかったら  
セカンドオピニオンも  
検討しよう



ご主人さんが  
おっしゃるように  
確かに  
「遅発性ジスキネジア」  
ですね

ようやく診断してもらえた



うん



主治医に  
治療薬が変わることに  
不安を感じていることを  
伝えると  
理解を示してくれた

これから  
ちゃんと治して  
いきましょ

実際会えば  
とても良い先生に感じた



私は  
主治医に動画を見てもらい  
妻の症状について  
詳しく説明した

1

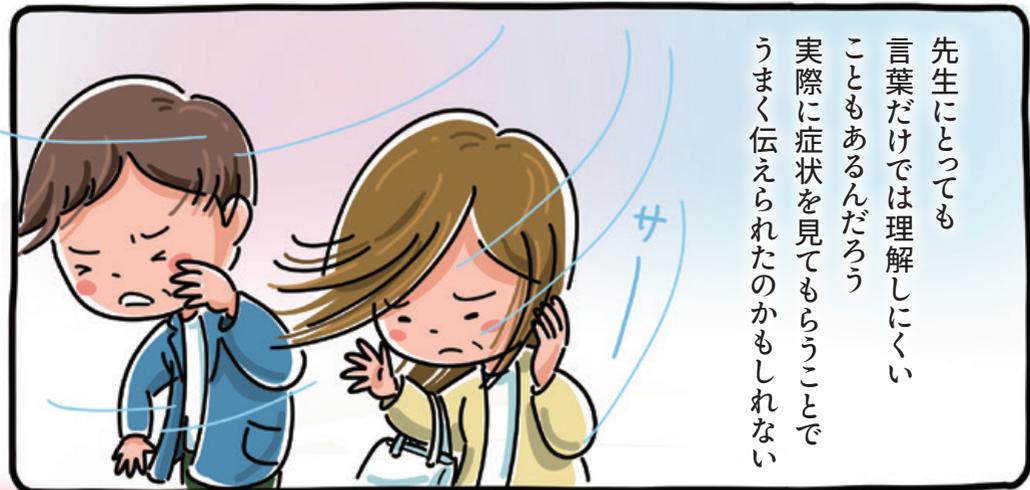
# 遅発性ジスキネジアって、 どんな病気？

「ジスキネジア」とは、自分の意思とは無関係に、体のどこかが勝手に動いてしまう、不随意運動\*という体の動きの問題の一つです<sup>1)</sup>。

ジスキネジアのうち、抗精神病薬などのお薬を長い間使用したことで起こるものを「遅発性ジスキネジア」と呼びます。遅発性ジスキネジアによる体の動きの問題にはさまざまなものがありますが、「繰り返し唇をすぼめる」「舌を不規則に動かす」「口をモグモグさせる」「眉をひそめる」など、顔に特徴的な症状が出るのがよくあります<sup>1)</sup>。

遅発性ジスキネジアは、抗精神病薬などを使ったからといって必ず起こるものではありませんが、症状がみられた時に早めに気づき、対応するためにも、患者さんやご家族に正しく知っておいていただくことが大切です。

\*不随意運動とは  
「自分の意思とは無関係に起こる動き」のこと。



また  
何度でも  
妻を外に誘おう



こうして  
共に花を  
愛でられるように

## 遅発性ジスキネジアが 起こりやすい要因は？

### 身体的要因

- 高齢
- 女性

### 生活習慣・その他

- 喫煙
- アルコール依存である

など

### かかっている病気など

- 糖尿病
- 脳に損傷や障害がある
- 精神疾患\*にかかっている期間が長い  
(\*統合失調症など)
- 抗精神病薬などのお薬を使用している



1) Solmi M, et al. J Neurol Sci. 2018; 389: 21-27.

利益相反: 著者には、ヤンセンファーマ株式会社との顧問又はアドバイザーを務める者、同社に専門家証言を提供した者、及び同社より謝礼又は助成金を受けた者が含まれる。

2) Xiang YT, et al. Int J Geriatr Psychiatry. 2014; 29(4): 359-366.

利益相反: 著者には、ヤンセンファーマ株式会社とのデータ安全性モニタリング委員会のメンバーを務める者が含まれる。

3) Jeste DV. J Clin Psychiatry. 2000; 61(Suppl 4): 27-32.

遅発性ジスキネジアが起こりやすい要因には、左の表のようなものがあります<sup>1)</sup>。

要因の一つに抗精神病薬など、一部のお薬の使用がありますが、高齢の患者さんは、若年の患者さんに比べて、少ないお薬の量でも遅発性ジスキネジアを起こす可能性があるといわれています<sup>2)</sup>。また、お薬の量や使用している期間も起こりやすさと関係があるとされていて、使用している期間が長いほど起こりやすくなると考えられています<sup>3)</sup>。

さらに、糖尿病、喫煙、アルコール依存も遅発性ジスキネジアを起こしやすくなる要因とされています。これらは、病院で適切な治療を受けたり、担当の先生などの助けも借りながら生活習慣を改善したりすること(例: 食事を見直す、運動する、タバコやお酒を減らす)によって、調整できる要因ともいえます<sup>3)</sup>。

抗精神病薬などのお薬の使用については、担当の先生が、治療中の病気のこととも考えながらお薬の種類や量を調整することができます。

「②遅発性ジスキネジアの症状って?」  
「③遅発性ジスキネジアの治療って?」  
については、「無意識な体の動きに気づいたら Ver.1/Ver.2」、もしくはウェブ「遅発性ジスキネジア サーチライト」をご覧ください。

### アクセス方法



### スマートフォンから

右の2次元コードを読み取っていただくか、下記のURLにアクセスしてください。



<https://td-searchlight.jp/>



### パソコンから

「TD サーチライト」と検索いただくか、下記URLを入力しアクセスしてください。

TD サーチライト

<https://td-searchlight.jp/>

漫画のもとになった  
患者さん体験動画  
はこちら▼





本コンテンツの企画・作成は  
田辺三菱製薬株式会社が行っています。

2025年3月作成

ヤンセンファーマ株式会社

(MTPC)  
(審)25Ⅲ233